

【1 分解説】非財務情報の開示とは？

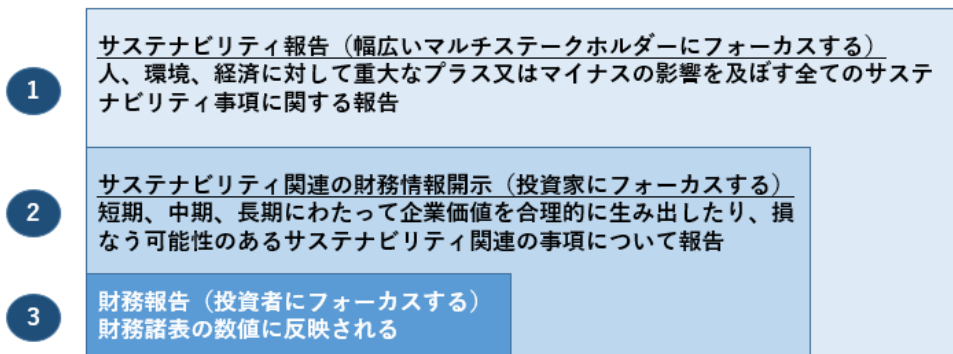
総合調査部 マクロ環境調査グループ 研究理事 河谷善夫

非財務情報とは、企業による開示情報のうち、財務諸表で示される定量的情報とは異なる、ESG やサステナビリティに関連する定性的な情報です。非財務情報の範囲は幅広く、経営理念、コーポレートガバナンス、環境や社会へのコミットメント状況、事業リスク・機会、サステナビリティに関する課題への取組みなどが挙げられます。IFRS（国際財務報告基準）財団によれば、企業による開示は資料のように3層構造とされ、非財務情報の開示は②の投資者にフォーカスした開示にあたり、広義には①の幅広いマルチステークホルダーにフォーカスした報告にも及ぶとされています。

国際的には IFRS 財団の下の ISSB(International Sustainability Standards Board)により、気候変動問題をはじめとしたサステナビリティ関連の開示基準作りが進められ、2023 年前半中にも取りまとめられる予定です。日本でも 2023 年 3 月 31 日以後に終了する事業年度に係る有価証券報告書でサステナビリティに関する事項の開示が求められ、将来的には ISSB 基準を踏まえた検討の上で、個別のサステナビリティ項目の開示が義務化される方向です。

企業を取り巻く環境変化が激しくなり、財務諸表による定量的な情報だけでは企業の持続的成長の評価が困難になってきたことにより、非財務情報の開示の重要性は今後ますます大きくなると考えられます。

資料 企業開示の3層構造（IFRS 財団のマテリアリティの考え方より）



（出所）金融庁作成資料を基に第一生命経済研究所作成